

一般質問

6月16日、17日、20日から22日の5日間にわたり、33名の議員が市政を取り巻く諸問題について、意見・提案を交えながら、市長などの考えをたどりました。質問、答弁の要旨は次のとおりです。
 ※議長と副議長は、町田市議会では一般質問を行わないことになっています。

各議員のタイトル下から一般質問の録画映像にアクセスできます。
 ※動画の再生には別途通信料がかかる場合があります。



くじによる落札 日中一時支援を



森本せいや(まちだ市民クラブ)
 工事請負契約で「くじによる落札」が急増している。事業者の意欲興盛、活性化に逆行する。早急に改善策を。 **財務部長** 22年度の下半期を目的に、試行的な取組を実施できればと考えています。
副市長 18歳の壁に直面する保護者の方々は、「障がい者日中一時支援」を切望している。地域福祉部長 他市で実施している日中一時支援事業や



農業者への支援 中学校教育



加藤真彦(自由民主党)
 市内産産物の生産量増加に向けた取組について。 **赤塚副市長** 効率的な都市型農業経営の実現を目指すために、ICTを用いた農業データの活用やAIやIoTなどの先端技術を使った新しい生産システムの導入などを支援し、市内産産物の生産量を増加させ、農業者が安定して農業を継続できるようにしていきたいと考えています。
副市長 鶴川中学校の教科教室型について。 **学校教育部長** よりよい教育の場とするため、生徒、教員、保護者の声を聞き、必要場合は改善を図ります。
副市長 部活動指導員の今後の考え方について。 **学校教育部長** 国や都の動向を注視しつつ、議員提案の大学生の活用も一つの方法として部活動の地域移行の在り方を検討していきます。



市民目線の物価 高対策を！



村まつ俊孝(公明党)
 地方創生臨時交付金の活用について、より多くの市民に物価高対策を実感できる取組が必要と考えるがどうか。 **財務部長** 地域のニーズや状況を的確に捉えながら、必要な対策を適宜講じていく必要があると考えています。
副市長 プレミアム商品券事業を行う区市町村を支援する「東京都生活応援事業」の活用を求めるがどうか。 **財務部長** 市民生活の支援に資するような活用をこれからも検討していきたい。
副市長 マイナポイント第2弾追加分の申込が6月30日から始まるが、市の体制はどうか。 **市民部長** マイナカードセンターと市庁舎に専用窓口を設置し、スマートフォンやパソコンをお持ちでない方や操作に不慣れな方がお申込みできるように、案内による支援体制を整えています。



水害原・土砂災害 駅土砂対策



小野寺まなぶ(公明党)
 ゲリラ豪雨が非常に増えてきているが、土砂の流出などが繰り返し起きている箇所への対策は。 **防災安全部長** 都による指定に基づき、指定地区ごとに土砂災害ハザードマップを作成し、対象区域の方々に配布するとともに、各市民センター等で配布、また広報まちだや市ホームページによる周知啓発にも努めています。
 さらに、防災フェアや防災講話など、機会を捉えてお話をさせていたいています。
副市長 視覚障がい者誘導用ブロックを駅周辺の危険箇所への対策を取るべきだがどうか。 **道路部長** 歩道部分と民地部分に段差があり、視覚障がい者が危険を認識できない箇所は、ポール状のソフトコーンなどの設置を検討し、視覚障がい者が安全に通行できるように努めていきます。



自殺対策 公務員働き方



佐藤和彦(まちだ市民クラブ)
 学校現場で行っている自殺防止のための教育内容は。 **教育長** 道徳で、自分や他人のよさを認め合うことや命の大切さについて考える場面の大切さについて考える場面を設けています。授業以外は全小中学校に心のアンケートを実施し、22年度からはhYPERIQUを実施します。
副市長 地方公務員の定年引上げについて、制度導入に向けた課題は。 **総務部長** 報酬、休暇制度等の勤務条件について制度整備を行い、また福利厚生充実を図ってきました。今後も都や多摩26市の状況を注視し、処遇改善に努めていきます。



弾道ミサイル 避難訓練の検討を



渡辺聡太郎(自由民主党)
 ロシア軍による領空侵犯や北朝鮮から弾道ミサイルが過去最大数発射されている。弾道ミサイル住民避難訓練を検討すべきだが。 **防災安全部長** 22年4月に内閣官房と消防庁から「弾道ミサイルを想定した市区町村の初動対処マニュアルの作成の手引き」が示され、訓練の実施の必要性についても含まれていますので、今後マニュアルを精査し、訓練の実施を含め、対応を示していきたい。
副市長 ウクライナ侵攻の影響で電気料金が高騰している。旧ごみ焼却施設の再稼働等、旧ごみ焼却施設の再稼働等、サマルリサイクルの電気を市民に提供すべきと考えるが。 **循環型施設担当部長** 旧清掃工場は、ごみ処理及び発電について再開できる状況にはありません。エネルギーとしての利活用については、情報収集や研究をしていきたい。



労働者協同組合 地域課題解決



笹倉みどり(まちだ市民クラブ)
 「労働者協同組合法」が今年10月施行。労働者協同組合を市の協働パートナーとして認識すべきだがどうか。 **経済観光部長** 都、国と情報を共有し、幅広い周知に努めていきたいと思っています。
副市長 労働者協同組合は、子育て、福祉、農業など多分野での事業展開が見込まれる。児童保育クラブ指定管理者応募要件に加えてはどうか。 **いきいき生活部長** 後期高齢者医療制度、国民健康保険や介護保険に適用され、介護施設や障がい者支援施設への入所または病院等への入院に伴い保険者の管轄を越えて住所移動した場合でも前住地の資格が継続される仕組みです。



境川団地地区 まちづくりの取組



石川好忠(自由民主党)
 境川団地地区まちづくり構想を策定したが、その後の取組状況は。 **政策経営部長** 22年11月の都市計画変更に向けて手続を進めています。教育センターの複合化は、28年度のオープンを目指し、22年度、基本計画を策定します。
副市長 北部丘陵地域の山林について、課題と今後の取組は。 **北部・農政担当部長** 団体や企業などと連携し、山林の再生と活用を推進することが課題です。作業路や散策ルートの整備を進めています。
副市長 境川治水対策について、整備状況・今後の整備予定は。 **赤塚副市長** 遊水地について、4か所目として、風間遊水地が完成したことで、治水安全度が向上しました。調節池について、境川木曾東調節池と境川金森調節池は26年3月に稼働する予定です。



帯状疱疹 予防接種



おんじょう由久(公明党)
 帯状疱疹予防接種の助成制度について、早期実現を図るべきだが。 **保健所長** 今後、定期予防接種化を含めた国の方針が示された場合は、速やかに市としての対応方法を検討していきます。
副市長 助成制度ができるまでの間、予防と治療の観点で取り組めることは。 **保健所長** 新しい治療薬が



夢と希望 もちに



熊沢あやり(諸派)
 子どもたちが安全に通学できるように、宏善寺脇の道路を整備すべきと考えるが。 **道路部長** 教育委員会と連携して、児童にとって最善の安全対策を検討していきたい。
副市長 中学校標準服を男女差なく選べるようにすべきだが。 **指導室長** 22年度に全校で行えるように進めています。
副市長 環境の変化に対応することが苦手な子どもたちや、



不登校児童 生徒への



渡辺さとし(まちだ市民クラブ)
 市内小中学校における不登校児童生徒数の現状は。 **学校教育部長** 年間30日以上の不登校児童生徒の人数は、22年3月時点で小学校が283名、中学校が662名です。
副市長 市の適応指導教室だけでは、不登校児童生徒の受け皿は足りない。社会的自立を目的とした不登校特例校を設けるべきと考えるがどうか。 **学校教育部長** 不登校特例校という制度があることを認識し、空き教室などを有効活用してというようなことは、視野に入れて検討しています。
副市長 不登校児童生徒の保護者の方が相談しやすい専用窓口を設けるべきではないか。 **学校教育部長** 在籍している学校にご相談いただくのが、最優先だと思えます。どのように対応していくかというところで、今のところは教育センターにつないでいます。